

●第二回世界非核自治体会議（スペイン・コルドバ）、土井さん来訪 八五〇八六年

米ソ対決による核戦争への危機感から欧州先頭に非核自治体宣言、非武装都市宣言をする自治体が広がった。神奈川県でも八四年七月「神奈川県非核兵器県宣言」が成立した。これを受けて「第二回世界非核自治体会議」（第一回は八四年三月マンチェスター）に神奈川県代表として参加するため、スペインの古都コルドバに向かう。基地対策課長森君が同行。会議では基調講演を行い、議長団に入る。会議の合間にトレド、アルハンブラを訪ねる。帰途、ロンドンに立ち寄り、反核ラリーに遭遇。市長に表敬し、副市長と懇談。土井たか子さん来訪し突然の発言。

マドリード空港に着けば女子学生 「久保さんですね」と小走りて来る

（通訳を頼んだ彼女は東京外語大スペイン語科の学生で留学中）

「時間ありトレドはいかが」と勧める彼女 元気を出してタクシーに乗る

タクシーの運転士は王党派 ゴンザレス首相を激しく罵る

（革ジャンを着た若き首相、社会民主労働党書記長）

初めてのトレドの街の静寂に われ佇ちおれば中世の幻影

中庭に言葉を無くし佇めば 限りなく青しアルハンブラの空

核兵器へ断罪激し「核の冬」 論じて熱す物理学者は

「海の核」指摘しつよく日本に 役割迫るポリネシア代表

欧州の反核の強さ激しさに 気後れしつつ議長席に着く

コルドバの市長招宴は午後八時 星空のもと野外パーティー

中世の騎士の服装した男 テーブル回りワインをそそぐ

カルメンの如き女がフラメンコ 激しく踊り夜も更けわたる

ロンドンの反核ラリー五〇万 家族ぐるみが街頭埋める

緑なすグリーンナムコモン訪ねれば ヒューマンチェーンで基地囲む人びと

ロンドンの副市長は大男 「非核で連携」と吾（あ）を抱きしめる

（非核宣言したロンドンには、市長を長らく労働党が占める）

「久保さんを下さい」と迫る土井たか子 知事は仰天われは動転

（初の女性社会党首となり、挨拶に見えた土井さん、突然の発言、知事は謝絶、協力を約束）